

令和2年度第2回仙台市創エネルギー導入促進助成金交付事業審査委員会議事概要

■日時 令和2年9月2日（水）14時00分から17時30分まで

■会場 仙台市役所本庁舎5階 第2会議室

■出席者

審査委員：4名

事務局：防災環境都市・震災復興室 室長外3名

環境部長、産業政策部長

申請者1：リモート参加（途中接続・切断）

申請者2：3名（途中入室・退室）

■要旨

1 開会

- 次の事項について確認した。
 - ・ 委員の過半数が出席しており、審査委員会が成立していること
 - ・ 申請事業者との事前の接触について、全委員から該当がないこと

2 議事

（1）委員会の公開・非公開等

- 事業投資に関する情報を取り扱うものであることなどから、仙台市情報公開条例の非開示情報に該当すると判断されるため、本委員会を非公開とすることとした。
- 委員1名を議事録署名人として選任した。
- 議事概要を市ホームページへ掲載することとした。

（2）申請案件1に係る質疑

- 前回に引き続き、申請者1とリモート接続し、各委員から申請者1へ、次の事項について質疑があった。
 - ・ 敷地境界における臭気の確認方法
 - ・ 害虫駆除の使用剤、使用方法、使用頻度等
 - ・ 排水の含有物・水質等の確認方法
 - ・ 停電時の発酵槽運転、発生ガス処理の方法
 - ・ 津波による浸水への対策
 - ・ 消化液の有効利用の実現性

（3）意見交換

- 申請者1とのリモート切断後、委員間で次の意見交換がなされた。
 - ・ 事業の概要、安全性、環境配慮等に関する市民の理解を得るよう、市民説明会やホームページでの積極的な情報公開等を行うよう努めることが望ましい。
 - ・ 消化液・汚泥の有効利用実現に向けた取組状況を把握できる仕組みがあるとよい。

(4) 申請案件1の審議

- 「市域の第三者へのエネルギー供給」、「クリーンなエネルギー」、「安定的なエネルギー供給」及び「地域の防災やまちづくりへの貢献」の4つの観点から評価を行った。
- 審査委員会としては、本件を交付対象事業として適当と判断し、環境保全や地域貢献等の観点から、更なる取り組みを促すため、附帯意見を付すこととした。

(5) 申請案件2に係る事前意見交換

- 申請者2との説明に先立ち、委員間で申請案件について意見交換を行った。
 - ・ プラント建設請負形態事業及びインフラ事業の投資採算性
 - ・ 国内先行事例との間における木質燃料の融通の有無
 - ・ 国内先行事例との事業名称の違い
 - ・ 木材供給量の見込み

(6) 申請案件2に係る説明及び質疑

- 申請者2の事業説明後、各委員から次の事項について質疑があった。
 - ・ 木質燃料輸入元との取引の見通し
 - ・ 国内先行事例における国産材供給量の状況、地元林業への寄与
 - ・ 燃料輸送船の船着き位置の選定
 - ・ 採用するボイラの稼働実績
 - ・ 脱硫装置、白煙対策等の設計根拠
 - ・ パーム椰子殻の燃料採用の可能性、排出ガスへの影響
 - ・ ボイラ起動時の化石燃料の使用有無、同燃料貯蔵タンクの津波対策
 - ・ 操業開始後の環境測定結果の公表内容、方法、頻度

(7) 申請案件2に係る意見交換

- 申請者の退室後、委員間で次の意見交換がなされた。
 - ・ 排出ガス等の常時監視結果を公表すれば、より市民理解を得やすいのではないか。
 - ・ FIT終了の20年より先の事業継続の可能性について確認したい。

3 閉会